

会長挨拶

前会長より推薦を受け、本年より2年間、会長を務めさせていただきます村田保です。

これまで8年間、研修会（琵琶湖会）幹事の一員として努めてきましたが、この立場になってみて、研修会（琵琶湖会）の目的について再度考えてみました。

1つは、技術の研鑽、マナー・エチケット・ルールの習得、会員相互の親睦を図る組織であること、もう1つはキャプテン所管の関西ゴルフ連盟インター倶楽部競技選手選考会であることです。

私ごときが語るのもおこがましいですが、普段のラウンドに慣れてしまっているせいか、研修会（琵琶湖会）でもマナーやルールについて、なんとなく適当だったり曖昧だったりしがちです。

2023年はルール改正の年でもありますので、技術研鑽だけでなく、改めて会員全員がインター候補選手の問題意識をもって、マナーやルールについても一緒に勉強する年にしたいと思います。

さらに、ゴルフが上手いだけの集団ではなく、プレーヤー目線、メンバー目線で建設的な提案が出来るような、倶楽部の未来の力となるような研修会（琵琶湖会）になっていけたらと願っています。

そのために倶楽部委員会との連携も図りつつ、研修会（琵琶湖会）全体のため、幹事の皆さんとともに精一杯の力で運営に当たりたいと考えております。宜しくお願い致します。

また、幹事全員が研修会（琵琶湖会）のために責任感を持ってボランティアで活動しています。

あらためて皆さんのあたたかいご理解と前向きなご協力をいただけますよう、なにとぞ宜しくお願いいたします。

運営ルールの改定

研修会（琵琶湖会）は倶楽部公認の組織ですので、これまでもある程度のルールで活動してきました。しかし過去の慣例で曖昧にされているところも多く、整理する必要があります。健全な組織運営が可能になるよう、他クラブの例も参考にして新しく会則をまとめました。

なお今後、会則等運営全般についての修正案は、個別に口頭で伝えるのではなく、事務局宛に文書を提出していただくようにしたいと思います。個人運営の同好会ではない性質上、正確な情報伝達が行われることがスムーズな協議進行となりますので、宜しくお願いいたします。